

拠点

拠点3 嬉泉福祉交流センター 袖ヶ浦

1. 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

1) 拠点全体

前年度は離職者が少なかったが、本年度は増加してしまった。離職する原因の一つに、利用者の24時間の生活をすべて抱えていくという入所施設ならではの状況の負担や多岐にわたる業務量の多さもあると考えられる。それは如何ともし難いことではあるが、今後はキャリアパス制度を活用した人材育成を通して、業務遂行の困難さをやりがいに転化していきけるような取組をしていく必要がある。

袖ヶ浦ひかりの学園増改築事業は、「入所者のQ.O.L. 向上」「高齢化対応」「地域支援の拡充」という3つのコンセプトの下で、完全個室化及びバリアフリー化された「生活棟の増築」、医務、厨房、整理室の拡張による居住サービス強化としての「既存スペースの改修」、生活介護(通所利用対応部分)及び短期入所希望者の増加に応じて専用スペースを設ける「地域支援棟の新築」の3工事業としての実施が決まり、10月から工事が開始された。

袖ヶ浦のびろ学園は設立40周年の年であったが、拠点として上記の大きな施設整備事業の実施があったため、記念事業はペンディングとなった。

2) 袖ヶ浦のびろ学園

年度内の新入園児は、9名(措置0名、契約9名)であった。家庭や学校と連携を取り、学校生活への適応や家庭帰宅の調整を個別に行い、学園だけではない本人の社会生活を維持する中での入所施設支援体制をとった。自閉症児施設の専門性を求める入所と養護性の欠如による措置入所という近年増加傾向にある新たなニーズに対応するため、児童相談所との連携を密に図りながら支援を行った。一方退所児は、他の児童施設へ転園1名、途中退所2名、高等部卒業生6名であった。移行先は、地方の障害者支援施設、私立の特別支援学校、家庭引き取りと様々である。千葉県内、東京都内では行動障害を有する児童の受け入れが難しく、比較的受け入れが容易な地方を選択せざるを得ない状況が続いている。入所児については引き続き、千葉県からの入所数が東京都からの入所数を上回る傾向にあった。入所支援に求められるニーズは、行動障害に対する支援が高く、重度傾向と共に、生活環境に配慮が必要な個別的な対応と個室化が求められた他に、入所児童の高年齢化、すなわち思春期を迎えた時期(中学2～高等2、3年)の入所ニーズの増加が見られ、入所児全体の50%を高校生が占めた。これに対し支援環境の少人数化と居住環境、日課の調整、利用者の個人ニーズに対応した支援を行う事で生活支援の充実を図った。

地域に在宅の利用者や、袖ヶ浦のびろ学園を退園した利用者の地域生活並びに家庭への支援として、短期入所事業を実施した。今年度は成人1952日、児童524日、合計2476日の支援を行った。本法人のこぐま学園やおおらか学園と連絡とりあった本施設の短期入所事業を利用した法人での地域支援体制を継続させ、通常短期入所利用に加えて、合宿形式の体験や休日利用のレスパイトなど施設機能の活用を行った。

3) 袖ヶ浦ひかりの学園・グループホーム春のひかり

一昨年度より、施設建物の増改築に向けて検討委員会を実施し、保護者との意見交換会や職員を交えての検討を重ねた結果、平成30年10月に着工することが出来た。竣工予定が平成31年6月なので、増改築後の利用者の居室割りや職員体制などについては、次年度の課題となる。

利用者の高年齢化(平均約50歳)に伴う怪我や疾病が増加し続けており、ほぼ毎日のように通院をしている状態であった。また今まで家庭で行っていた治療の必要性のない通院についても、家庭状況の変化により行うことが出来なくなるケースが増え、それを学園が補うよ

うになってきていることも通院増加の一因となっていた。その中で1件入院を伴う治療があったが、職員の付添い支援が必要になり、そこに対応できる職員が限定されてしまうことも改めて認識された。更に家族の高齢化による家庭状況の変化は大きく、週末の帰宅ができずに、はるかぜを利用する家庭が増加、毎回30人前後の利用者が帰宅できない状態であった。

利用者の日中活動においては「ひかりの工房」として選択的作業体制を維持した。特にリサイクル作業においては利用者の安定した取り組みにより、作業量が増え続けており、積み重ねにより、作業効率そのものが向上した。利用者にとって作業の場が自信を回復する機会となり、達成感や充実感を得られる場となっているのは確実である為、引き続きこの作業体制を維持していくことが望ましいと考える。余暇支援の取り組みとして、そだてグループは日帰りのバスハイクを行先は数か所の中から利用者を選択してもらう形式は継続し行った。参加することに対してあまり負荷がかからない設定にすることが出来るため、利用者も楽しんで参加していた。こころグループは昨年度に引き続き1班は日帰り、もう1班で一泊の宿泊旅行を実施した。両班共に概ね充実した時間を過ごす事が出来ていた。

生活介護事業のみ利用している「きずなグループ」の運営も継続した。実際にきずなグループを利用する利用者の多くは他の事業所では受け入れられず、学園においてもある程度の配慮や、経験に基づく支援が必要である。その為保護者であっても外出の付き添いをする事は難しく、日中活動の中での外出活動への期待の大きさが感じられた。

グループホームでは、今年度は地域参加の意味も含めて、地域の防災訓練に利用者支援員皆で参加した。地区長や各班長に、同じ地域に暮らす者として知っていただけたことは良かったと思われる。

4) 地域生活支援センターたのしみ

袖ヶ浦市指定による「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」及び、千葉県指定による「一般相談支援事業」の指定を受けて事業を行った。また、袖ヶ浦市から袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会が受託した市の障害者相談支援事業に相談員を派遣し、地域の障害児(者)への支援を行った。

児童発達支援事業については、市の幼児相談や病院からの紹介、他市からの利用が増え、事業所の存在がさらに認識されるようになった。袖ヶ浦市や木更津市の保育所などの巡回訪問を積極的に行い、発達が気になる幼児への体応の仕方等アドバイスを行った。また、就学前に適切なサポートが実施できるよう袖ヶ浦市の要請を受け年長児童を対象に言語聴覚士による言語の発達検査を行った。

放課後等デイサービスは、榎の実特別支援学校・君津特別支援学校・市原特別支援学校・長浦小学校・昭和小学校・奈良輪小学校・蔵波小学校の児童が利用した。平日は1日当たりの定員を超える日が増え、祭日や週末の利用は他事業所での受け入れが困難な児童の受け入れを積極的に行った。

5) 袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園

本年度は、本人の状況、家庭の状況の把握をしていくこと、それと同時に利用者との関係作りに重きを置き支援を行った。また、個別での家庭との面談を支援計画策定時に年間3回設定し、支援の内容や方法への理解が深まるような機会を持った。その積み重ねもあつてか、保護者には当法人の療育方針に対してのある一定の理解は得られたと思われる。家庭の事情から短期入所利用のニーズも増えてきており、袖ヶ浦ひかりの学園の利用へと繋げた。袖ヶ浦ひかりの学園と連携して支援が出来るという安心感で、更なる新規の利用希望が増えた。

生活介護事業については、昨年度までは散歩、余暇活動を中心に展開してきたが、そこに今年度は生産活動に結びつくような作業活動を取り入れた。作業活動に関しては、こちらが想定していたより利用者の作業への適応力や技術力が高かったので、作業による還元金を支給することが出来た。また、利用者の中には身体に障害を抱えている方も数名いることから、引き続き動作法を取り入れた活動を実施した。

就労継続支援B型については、継続している作業を確実に行うことで、取引業者ともトラブルなく受注を継続することが出来た。工賃は前年度の平均 11000 円から、本年度平均 12000 円へと着実に向上した。しかし、生活介護事業の利用者数が増加しているのに対し、就労継続支援B型事業は30名定員に対して19名の在籍に留まっている。特別支援学校等の実習の受け入れを積極的に行い、利用率の向上に努めたが、まだ結果に結びついておらず、課題が残った。

2. 年間行事等実施状況

※別紙1「年間行事等実施状況」参照

3. 職員体制

※別紙2「組織図」参照

4. 職員研修

1) 方針(再掲)

事業が拡大し、それに伴い拠点、職員が増加、業務内容も多岐に渡るようになった。その一方で職員同士の交流や他事業所への理解が希薄になりやすい状況とも言える。

そのため人材育成及び既存の研修内容も事業所や各業務に共通するものと特化すべきものを見極めながら法人としての研修から事業所ごとの研修まで幅広い視野での研修の最構築あるいは新規研修の企画、推進が必須である。

2) 事業所内研修

①受容的交流理論に基づく対人援助の知識や技術を高める

- ・夏季療育合宿(8/18~20)への参加・・・参加支援員3名、研修係1名
- ・冬季療育合宿(12/22~24)への参加・・・参加支援員3名、研修係1名
- ・法人職員全体研修(1/20)への参加・・・65名

②新人職員の育成

新人職員に対し、主にサブリーダー以上の役職に就く職員がチューターとして1年間付き、新人の育成に取り組んだ。

③法人事業所間の交流研修への参加

他事業所の行事(夏祭り、餅つき等)に4名参加し、事業所間交流を図るとともに、援助技術や取組み等を学んだ。

④心のケア(抱っこ法)研修を通して感性や援助技術の向上に努める

合計6回、新人研修を実施した。5/22、7/10、9/25、11/27、2/5、3/19

⑤拠点内全体研修の実施

- ・教育心理学を専門とする真仁田昭先生にSVをお願いし、ケース研究発表会を3回実施した。
6/5、8/28、11/27。ケース内容をより深めていくため発表者、参加者をグループごととし、少人数で行った。
- ・全体研修会を3回実施した。
テーマ：支援者の大切な視点(5/15、6/7)、人権擁護研修(9/6)

- ・エピソード記述研究会を4回実施。責任者クラスの職員を中心に12名の構成メンバーで行った。

⑥各職種に必要となる知識を高める

- ・千葉県知的障害者福祉協会児童部会学習会に派遣・・・支援員2名
- ・千葉県知的障害者福祉協会障害者支援スタッフ部会に派遣・・・支援員2名

⑦その他

・プール講習の実施

プールでの事故防止、救助法獲得のため日本水泳連盟所属で法人嘱託職員である三輪謙講師の下、新人、異動職員を対象に講習を行った。7/19 実施。参加職員 8 名

3) 外部研修

出張・研修名	主催	参加人数	日時	開催地
支援スタッフ部会代表者会議	千葉県知的障害者福祉協会	1名	4月5日(木)	千葉市文化センター
第30回 菜の花会みどり祭り	(福)菜の花会 しもふさ学園	1名	4月8日(日)	しもふさ学園
平成30年度知的障害者福祉協会定期総会	千葉県知的障害者福祉協会	2名	4月20日(金)	ホテルグリーンタワー幕張
特定非営利活動法人生活サポート千葉臨時総会	特定非営利活動法人生活サポート千葉	1名	4月20日(金)	ホテルグリーンタワー幕張
世界自閉症啓発デー2018 シンポジウム	日本自閉症協会	5名	4月7日(土)	全自社協・灘尾ホール
平成30年度知的発達障害部会総会	東京都社会福祉協議会	1名	5月16日(水)	全理連ビル9階会議室
給食施設管理者・従事者研修会	千葉県君津健康福祉センター	2名	6月11日(月)	木更津市民総合福祉会館
第1回 広報委員会(千葉県知的障害者福祉協会)	千葉県知的障害者福祉協会	1名	4月23日(月)	ふる里学舎
設置者・管理者会およびH30年度総会	君津圏域障害者グループホーム連絡協議会	1名	5月10日(木)	君津健康福祉センター
生活寮・グループホームネットワーク委員会全体会・研修会	東京都社会福祉協議会	1名	5月23日(水)	飯田橋セントラルプラザ
副安全運転管理者講習	千葉公安委員会	1名	5月8日(火)	袖ヶ浦市民会館
新任職員研修	千葉県知的障害者福祉協会	1名	6月19日(火)~20日(水)	鴨川ホテル三日月
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	サポート千葉	1名	6月22日(金) 6月27日(水)	千葉県教育会館 他
全国知的障害関係施設長等会議	日本知的障害者福祉協会	4名	7月2日(月) 7月3日(火)	東京国際フォーラム
平成30年度 管理者・サビ管研修会(GH)	千葉県知的障害者福祉協会	1名	6月5日(火)	千葉市文化センター
知的発達障害部会 施設体験研修	東京都社会福祉協議会	1名	7月18日~19日	ココロ学舎瑞学園
てんかん基礎講座	日本てんかん協会	1名	8月9日(木) 8月10日(金)	ベルサール汐留
食品衛生講習会	袖ヶ浦市食品衛生協会	3名	5月30日(水)	君津健康福祉センター
平成30年度全日本自閉症支援者協会総会	全日本自閉症支援者協会	3名	7月1日(日)	TKP 神田ビジネスセンター
第1回地域連携会議「精神障害者の就労について」	障害者就業・生活支援センターエール	2名	6月18日(月)	木更津市民会館
食品表示研修会	千葉県健康福祉部	2名	8月17日(金)	千葉県庁中庁舎
新版K式発達検査(初)講座	京都国際社会福祉センター	1名	7月21日(土)~24日(火)	京都国際社会福祉センター
社会福祉事業従事者人権研修I	東京都福祉保健局	1名	9月4日(火)	なかのZEROホール
社会福祉事業従事者人権研修I	東京都福祉保健局	1名	9月13日(木)	なかのZEROホール
強度行動障がい支援者養成研修 基礎・実践	(有)ホットラインワールド	1名	9月6・13・20・27日	北習志野三番館ビル
強度行動障がい支援者養成研修 基礎	(有)ホットラインワールド	1名	9月6・13日	北習志野三番館ビル
強度行動障害支援者養成研修(実践)	サポート千葉	3名	8月29日(水) 8月31日(金)	千葉県教育会館 他

感染症対策研修会	千葉県君津健康福祉センター	1名	7月20日(金)	君津健康福祉センター
関東地区福祉型障害児入所施設連絡会	国立障害者リハビリテーションセンター	1名	7月18日(水)	弘済会館
考課者トレーナー養成講座	㈱日本経営	1名	8月28日(火)	天王洲郵船ビル
東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金申請等事務説明会	東京都	2名	7月25日(水)	都議会議事堂
支援スタッフ部会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	7月31日(火)	市原市民会館
平成30年度 権利擁護委員会「虐待防止及び身体拘束廃止」につながる応用行動分析の基礎を学ぶ	千葉県知的障害者福祉協会	1名	8月27日(月)	千葉市市民会館
平成30年度千葉県相談支援従事者現任研修	千葉県健康福祉部	2名	10月5日(金) 他	千葉県教育会館
平成30年度給食施設管理者研修会	千葉県健康福祉センター	2名	10月5日(金)	君津健康福祉センター
給付費請求業務の基礎知識・情報交換会	東京都社会福祉協議会	2名	8月31日(金)	飯田橋セントラルプラザ
きりともセミナー アンガーマネジメント	桐友学園	1名	10月3日(水)	沼南育成園ホール
食中毒・感染症対策研修会	千葉県健康福祉部	2名	9月12日(水)	千葉市民会館
2018年度社会福祉士実習指導者講習会	千葉県福祉士会	2名	11月23日(金) ~24日(土)	千葉県教育会館
強度行動障害支援者養成研修(実践)	生活サポート千葉	4名	10月15日(月) 10月16日(火)	千葉市民会館
第32回全日本自閉症支援者協会研大会三重大会	全日本自閉症支援者協会	7名	10月22日(月) 10月23日(火)	三重：アスト津
第2回 精神障害者地域生活支援事業所研修会	千葉県精神保健福祉センター	1名	11月7日(水)	千葉市民会館
平成30年度 支援スタッフ部会 全体研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	9月28日(金)	千葉県総合スポーツセンター
健康保険委員研修会	全国健康保険協会千葉支部	1名	9月14日(金)	千葉市文化センター
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	サポート千葉	2名	11月27日(火) 11月29日(木)	千葉教育会館 ふる里学舎
知的発達障害部会 総会	東京都社会福祉協議会	1名	10月17日(水)	研究社 英語センター会議室
労働基準法等に関する基礎研修会	東京都社会福祉協議会	1名	11月12日(月)	国立オリンピック記念 青少年総合センター
都外施設学習会	東京都社会福祉協議会	1名	11月21日(水) 22日(木)	静岡県御殿場市
第二回地域連携会議	障害者就業・生活支援センターエール	1名	10月29日(月)	木更津市民総合福祉会館
袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会視察研修	袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会	5名	11月9日(金) 10日(土)	静岡県熱海市
スーパービジョン研修	東京都社会福祉協議会	1名	2月28日(木)	東京都社会福祉保健医療研修センター
社会福祉法人会計基準	日立システムズ	2名	10月19日(金)	日立システムズ 本社
高齢者介護施設・障がい者施設での大規模災害対策講座	フォックスブルー㈱	1名	11月19日(月)	千葉市民会館
支援スタッフ部会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	11月20日(火)	千葉県総合スポーツセンター
千葉県相談支援従事者専門コース別研修 発達障害児・者への相談支援	千葉県	1名	12月18日(火)	千葉市文化センター
障害児支援セミナー	千葉県知的障害者福祉協会	1名	12月13日(木)	千葉市生涯学習センター
チームリーダー重点テーマ強化研修	東京都社会福祉協議会	1名	1月22日(火) 1月23日(水)	東京都社会福祉保健医療研修センター
福祉職員職務階層別研修 管理職員研修	東京都社会福祉協議会	1名	2月14日(木) 2月15日(金)	東京都社会福祉保健医療研修センタ

				ー
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	ホットラインワールド	1名	3月7日 3月14日	ホットラインワールド 船橋教室
強度行動障害支援者養成研修(実践)	ホットラインワールド	1名	2月5日 2月12日	ホットラインワールド 船橋教室
強度行動障害支援者養成研修(基礎+基礎)	ホットラインワールド	1名	1月15・22 2月5・12日	ホットラインワールド 船橋教室
強度行動障害支援者養成研修(基礎+実践)	ホットラインワールド	1名	3月7日 14日23日30日	ホットラインワールド 船橋教室
公正採用選考人権啓発推進員等研修会	木更津公共職業安定所	1名	1月22日(火)	木更津市中央公民館
全国障害者生活支援研究セミナー	全国障害者生活支援研究会(サポート研)	2名	2月17日(日)	川崎市コンベンションホール
成年後見制度の考え方と実際	東京都社会福祉協議会	1名	2月23日(土)	福祉プラザ
施設長のための会計入門	東京都社会福祉協議会	1名	2月4日(月)	東京都社会福祉保健医療研修センター
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業代表者会議	社会医療法人社団さつき会	1名	2月4日(月)	君津健康福祉センター
強度行動障害支援者養成研修(実践)	生活サポート千葉	2名	2月25日(月) 2月27日(水)	カンデオホテルズ千葉
障害者虐待防止・権利擁護講演会	千葉県健康福祉部	2名	3月6日(水)	千葉県教育会館
福祉施設における労務の基礎知識・情報交換会	東京都社会福祉協議会	1名	2月25日(月)	飯田橋セントラルプラザ
地域連携会議 精神障害者の就労について	木更津市民会館	1名	2月12日(火)	木更津市民総合福祉会館
食品製造・飲食店を運営している障害福祉サービス事業所のための HACCP 導入に向けたモデル事業所報告会	千葉県健康福祉部	1名	3月12日(火)	千葉県文書館
千葉県知的障害者福祉協会広報委員会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	3月5日(火)	ふる里学舎
平成30年度指定障害福祉サービス事業者の対する集団指導	千葉県庁	4名	3月20日(水)	千葉市民会館
スタッフ支援部会 市原・安房・君津ブロック研修会	千葉県知的障害者福祉協会	1名	3月13日(水)	市原市民会館
福祉避難所開設・運営訓練の実施	袖ヶ浦市役所 危機管理課	2名	3月20日(水)	袖ヶ浦市役所

5. 実習生等の受入状況

① 実習生の受入(総数：40名)

名 称	人数(人)
淑徳短期大学	2
東京福祉大学	4
横浜こども専門学校	2
東京リゾート&スポーツ専門学校	2
聖徳大学	1
東京都市大学	1
白梅短期大学	3
淑徳大学	1
十文字学園女子大学	4
立正大学	2
千葉明德短期大学	2
目白大学	2
東洋大学	2
武蔵野大学	1
東京家政大学	4
和洋女子大学	2

日本児童教育専門学校	3
千葉経済短期大学	2

② 知的障害者関係施設及び学校からの研修生(総数：18名)

名 称	人数(人)
養育園	8
槇の実特別支援学校	1
知的障害者援護施設なごみ	1
友愛学園	1
シャロームみなみ風	1
ハート・ピア	1
しいの木特別支援学校	5

③ 見学者の受入(総数：142名)

名 称	人数
短期入所希望者	7
入所希望者	5
施設見学者	15
槇の実特別支援学校	14
しいの木特別支援学校	5
社会福祉法人 筑桜会	20
御幸東第二地区民児協	15
さつき学園	3
柊の郷	1
新宿成年教室	3
朝霞市民児協障害者部会	27
ひとつぶのむぎ	1
わかたけキッズ	2
のぞみ発達クリニック	9
みぬま福祉会 川口太陽の家	1
淑徳大学教員・学生	19

④ ボランティアの受け入れ(総数：延べ34名)

活 動	所属等	人数(人)	頻度等(日)	区 分
夏祭り手伝い	—	17	1	しいの木特別支援学校
バザー	—	17	2	父母・学生・社会人

6. 福利厚生

① 定期健康診断(年2回)

対 象：全職員(深夜勤に当たっていない者は年1回)

実 施：1回目 平成30年9月6日

2回目 平成31年2月5日(夜勤対象直接支援職員)

実施人数：1回目45名

2回目48名

場 所：学園内(ちば県民保健予防財団検診車)

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、胸部測定、ウロビリノーゲン測定、尿潜血測定、尿糖測定、尿蛋白測定、心電図、便潜血測定、肝機能測定、腎機能測定、脂質測定、炎症測定、貧血測定、糖尿病測定

備 考：生活習慣病予防検診の対象者は、1回をそれに含める。

② 生活習慣病予防検診(年1回)

対 象：35歳以上の職員(希望者は30歳から)

実 施：平成30年9月27日 平成30年9月28日

実施人数：72名

場 所：学園内(ジェイコー千葉病院)

検査項目：問診、診察、視力、聴力、血圧測定、心電図、検便、検尿、血液検査〔貧血・生化学検査〕脂質、肝機能、胃部レントゲン、胸部レントゲン、身体測定(腹囲、BMI含む)、乳癌・子宮癌検査(希望者のみ)

備 考：日帰り人間ドックの対象者は、それに含める。

7. その他

施設整備

- ・袖ヶ浦のびろ学園 スプリンクラー設備設置工事（はやぶさ棟）
総費用 1,350千円 （自己負担金12,058千円）
- ・袖ヶ浦のびろ学園 G P S エアコン取付（厨房）
総費用 1,950千円 （自己負担金 1,950千円）

1. 10カ年のアクションプラン※網掛けは一部改訂および新規項目

- 1) 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応
 - ①「はやて棟」の用途変更(ひかりの→のびろ) ※実施済み
 - ②のびろ大規模修繕 ※実施済み
 - ③のびろ支援員の研修(高機能、知的に軽度な発達障害への療育) ※継続中

- 2) 入所者の高齢化への対応
 - ④ひかりの本体(そだて)改修、増築 ※平成30年度実施予定
 - ⑤ひかりの利用者グループ再編
 - ⑥ひかりの支援員の研修(介護技術・メンタル・SV体制) ※継続中

- 3) 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充
 - ⑦「児童発達支援センター」の整備(相談支援の併設) ※実施済み
 - ⑧のびろ利用定員の変更(50名→40名+短期併設10名) ※実施済み
 - ⑨ひかりの「地域支援棟」の整備 ※平成30年度実施→次年度へ継続
 - ⑩グループホームの移設及び増設
 - ⑪袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み
 - ⑫たのしみ中高生の放課後デイ実施 ※実施済み
 - ⑬袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新
 - ⑭児童発達支援センターの機能拡充
 - ⑮地域生活支援センターたのしみの再編成
 - ⑯地域生活支援拠点の整備
 - ⑰ひかりの学園短期入所の定員拡大
 - ⑱のびろ学園短期入所棟の整備

2. 自閉症スペクトラムの多様なニーズへの対応

- 1) ~~「はやて棟」の用途変更(ひかりの→のびろ) ※実施済み~~

- 2) ~~のびろ大規模修繕 ※実施済み~~

- 3) のびろ支援員の研修(高機能、知的に軽度な発達障害への療育) ※継続中

児童福祉法改正前は、第2種自閉症児施設として、重度の自閉症児(主に強度の行動障害を示す児童)を対象に支援してきた為、近年社会的なニーズとしても高まりつつある、知的に軽度な発達障害児に対しての支援に苦慮している現状がある。また、本人の問題のみならず、家庭環境(成育歴)や保護者自身も知的・精神障害を抱えているケースもみられ、トータル的な支援の必要性に迫られている。

まずは、法人内の他事業所との交流研修や実習を通して、スーパービジョンを受ける中で支援技術の向上につなげる。また、外部の研修などにも積極的に参加をすすめ、幅広い視点を養っていきたい。

3. 入所者の高齢化への対応

- 4) ひかりの本体（そだて）改修、増築 ※平成30年度実施→次年度へ継続
個室化とバリアフリー化のために、現在のそだて棟ユニット2・3を含めて南側に増築をする。35人分の居室（そだてグループ29名+α6名（短期入所その他）分）と食堂・浴室・職員詰所を含む。2階建て。エレベーターも完備。
現在のひかりの（そだて）食堂は無くして、厨房を大きくする。そだて棟・こころ棟・生活介護棟へ食管車で運んで提供。
大浴室・小浴室も無くして、整理室を大きくする。
そだて棟ユニット1は療育ルームとして整備。ひかりの学園療育内容の見直しや、SVに使っていく。
プロムナードはそのまま残して、現在使っている用途（行事・お集まりの場など）のほか、利用者の健康維持のために、運動する場としても利用できるのではないかと。
ひかりの玄関は変わらず。
- 5) ひかりの利用者グループ再編
今後を考えると下記A~Cの3グループが考えられる。状況により、毎年変化していくので、それに合わせての編成になってくると思われる。できれば、上記のそだて増改築後の建物がグループ分けに柔軟に対応できるものであることが望まれる。
A…現在の延長（健康維持）
B…要介護（高齢化）
C…日中活動充実（若い利用者）日中一時や生活介護利用者との合流も考えられる
- 6) ひかりの支援員の研修（介護技術・メンタル・SV体制） ※継続中
高齢化に向けては、介護技術の研修や資格取得などはもちろんのこと、他の高齢施設職員の意見を聞き、研修や施設整備に繋げていく。
保護者や利用者自身が亡くなったり、それに向けて見守っていったりなどの、ひかりの職員が未だ経験していない事態に対する備えとしての研修や、そのストレスに対するメンタル面への研修なども取り入れていく。
日々の業務の中で、療育ルームなどを使い、こぐま学園のようなSVを受けるなどの研修も行っていく。

4. 「切れ目のない」地域支援サービスの拡充

- ~~7) 児童発達支援センターの整備（相談支援の併設） ※実施済み~~
- ~~8) のびろ利用定員の変更（現在50名→40名+短期併設10名） ※実施済み~~
- 9) ひかりの「地域支援棟」の整備 ※平成30年度実施→次年度へ継続
地域療育支援の積極的展開として、「地域支援棟」を袖ヶ浦の敷地内に建設し、地域の方たちを受け入れていく。現在の日中一時や生活介護利用者でも、本体の空間を利用するのは、手狭になってきており、活動以外の利用者の過ごす場としてそこを利用する。地域から生活介護棟に登園、活動は本体の作業活動に合流、それ以外の昼食や余暇は生活介護棟で過ごし、そこから帰宅する。また、それには地域利用者への送迎の充実も急務となっている。
のびろ学園の利用者が、退所後地域に戻り、グループホームなどから日中活動のサービスを利用、といった支援体制の拡充にもつながる。
※法人研修（合宿）などへの利用も想定される。

10) グループホームの移設及び増設

グループホームは、老朽化していることもあり、新たな建物の建設ないし取得（賃貸を含む）する。また今後、ひかりの学園の日中利用者及びうぐいす園利用者のニーズに合わせて、日中支援サービス型を含む新たなグループホームの設置も視野に入れていく。

~~11) 袖ヶ浦市福祉作業所の受託 ※実施済み~~

~~12) たのしみ中高生の放課後デイ実施 ※実施済み~~

放課後等デイサービス事業ウサギの利用者で小学校を卒業する年齢の児童が出てきて、中学になっても引き続き利用したいとの声があったため、利用対象者を中高生まで広げる。高校生まで広げる理由としては、将来的にひかりの学園きずなグループやうぐいす園の利用に繋げていくトータルケア構想の一環に位置付けるためである。

13) 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新

うぐいす園の指定管理は5年更新であり、平成32年度には最初の更新を迎える。現在の運営は、利用者・保護者から共に高評価を受けているので、引き続き指定管理を行いたい。

課題としては、就労継続B型利用人員の伸び悩みと漸増している生活介護の支援体制整備（特に作業療法士などパラメディック専門職の配置）をどのようにしていくかである。

14) 児童発達支援センターの機能拡充

増加する発達障害への早期療育ニーズに対応して、従来の児童発達支援機能(通所療育)に加え、インテークやアセスメント、アウトリーチを含む専門的相談機能及び機関連携やコンサルタント、施設支援指導事業などの地域支援機能を整備する。具体的には、専門的相談や地域支援を行い得る社会福祉士や言語聴覚士、作業療法士、公認心理師といった専門職を配置する

そのために、平成34年のたのしみ20周年を目途に、袖ヶ浦市からの「袖ヶ浦市療育支援事業」を含めた事業委託もしくは運営費助成による「公立化」を目指す。

15) 地域生活支援センターたのしみの再編成

平成31年度のひかりの地域支援棟竣工に伴い、従来の「地域生活支援センターたのしみ」から相談支援事業所を分離し、単独の事業所として地域支援棟内の専用室に移設し運営を行う。また「地域連携室」を発足し、将来的な展望として、地域生活支援拠点を整備する際の核となることを目指す。

残る障害児通所事業のヒツジとリス・ウサギについては、両者を合わせて「児童発達支援センターよろこび（仮称）」と呼称する。

16) 地域生活支援拠点の整備

「地域生活支援センターたのしみ」内の「地域連携室」を核に、地域生活支援拠点事業として、国の求める次の5つの機能について、地域の実情に応じた整備を行う。

- ① 相談
- ② 緊急時の受け入れ・対応
- ③ 体験の機会・場
- ④ 専門的人材の確保・養成
- ⑤ 地域の体制づくり

17) ひかりの学園短期入所の定員拡大

地域支援棟の整備に伴い、ひかりの学園短期入所枠を現在の併設2名から10名に拡大し、地域のニーズに応じていくと共にのびろ学園短期入所の利用者のうち成人を原則として移行させる。

また必要に応じ、地域生活支援拠点事業の機能として求められている「緊急時の受け入れ・対応」や「体験の機会・場」としても位置付けていく。

18) のびろ学園短期入所棟の整備

ひかりの学園短期入所枠の拡大に伴い、のびろ学園短期入所利用者の属性を原則として児童に絞っていく。それによって、知的に軽度な発達障害児等を含めた多様な短期入所ニーズへ柔軟に対応すべく、小舎の専用棟を整備する。

[年次行動計画一覧]

年次	行 動 計 画	備考
平成25年度	● 「はやて棟」の用途変更	
平成26年度	● のびろ大規模修繕 ③ のびろ支援員の研修 ⑥ ひかりの支援員の研修	←単年度ではなく継続 ←単年度ではなく継続
平成27年度	⑦ 「児童発達支援センター」の整備 ⑪ 袖ヶ浦市福祉作業所の受託	※ひかりの30周年事業
平成28年度		
平成29年度	⑧ のびろ利用定員の変更 ⑫ たのしみ中高生の放課後デイ実施	※のびろ生活介護廃止 ※法人50周年事業
平成30年度	● ひかりの本体(そだて)改修、増築 ⑨ ひかりの「地域支援棟」の整備	※のびろ40周年事業 →保留
平成31年度	● ひかりの利用者グループ再編 ⑰ ひかりの学園短期入所の定員拡大 ⑮ 地域生活支援センターたのしみの再編成	
平成32年度	⑬ 袖ヶ浦市福祉作業所の指定管理更新 ⑯ 地域生活支援拠点の整備	
平成33年度	⑩ グループホームの移設または増設	
平成34年度	⑭ 児童発達支援センターの機能拡充	※たのしみ20周年事業
平成35年度	⑱ のびろ学園短期入所棟の整備	

別紙1 (拠点用事業報告関係)

30年度 年間行事等実施状況

項目 月	行 事		職員研修		職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	26	新人交流会			3 12	運営会 環境整備	17 26 26 26	総合避難訓練 消化訓練 ヒツジ避難訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)	10	内部統制委員会 労働衛生委員会	10	情報セキュリティ委員会 事故防止委員会 広報委員会 苦情解決委員会 災害対策委員会
5月	2 5 15	めじろ外出 きずな父母会 めじろ外出	15	全体研修	1 8 10 22	運営会 ひまわり会議 環境整備 厨房会議	17 31	ヒツジ避難訓練 消化訓練	22	労働衛生委員会		
6月	12 14 15 19	ひかりの父母会 のびろ父母会 うぐいすひのきバスハイク そだてバスハイク1班	1 5 7 23	エピソード記述研修 ケース研究発表会 全体会・全体研修 新任職員フォローアップ研修	1 7 13 26	運営会 環境整備 運営会 厨房会議	21 28 28	ヒツジ避難訓練 消化訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)	1 12	人権擁護委員会 労働衛生委員会	7	苦情解決委員会
7月	6 12 19 31	きずな1日外出 そだてバスハイク2班 夏祭り めじろ外出	19	プール講習会	12 17 17 24	環境整備 運営会 ひまわり会議 厨房会議	12 26 27	ヒツジ避難訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難) 消化訓練	17 18	労働衛生委員会		
8月	3 7 9 16 17 21 25	すずめ外出 すずめ外出 すずめ外出 めじろ外出 すずめ外出 めじろ外出 ヒツジタ涼み会	23 28	エピソード記述研修 ケース研究発表会	2 9 21	運営会 環境整備 厨房会議	6 15 30	ヒツジ避難訓練 消化訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難)	3 30	人権擁護委員会 労働安全衛生委員会	2	規定整備委員会
9月	13	そだてバスハイク3班	1 6 25	児童発達支援センターヒツジ専門講座 全体会・職員研修 新人研修	6 11 13 17	運営会 ひまわり会議 環境整備 厨房会議	20 27 28	ヒツジ避難訓練 夜間火災想定 (通報・消火・避難) 消化訓練	6 6 12 18 28	内部統制委員会 一般健康診断 生活習慣予防検診1回 労働安全衛生委員会 生活習慣予防検診2回	6 6 11 13 18	情報セキュリティ委員会 苦情解決委員会 災害対策委員会 事故防止委員会 苦情解決委員会 事故防止委員会

事業拠点組織図(嬉泉福祉交流センター[袖ヶ浦])

